

平成29年度事業報告

1 団体の管理・運営

(1) 会員数（平成30年3月末現在）

- ・正会員：40団体
- ・賛助会員（団体）：128団体（109団体、19市町）
- ・賛助会員（個人）：146名

(2) 会議の開催

① 総会

- ・第49回 平成29年5月25日 役員の選任
（書面）
- ・第50回 平成29年6月29日 28年度事業報告・収支決算、役員の選任

② 理事会

- ・第59回 平成29年5月16日 総会の招集（役員の選任）
（書面）
- ・第60回 平成29年6月7日 28年度事業報告・収支決算、
総会の招集（役員の選任）
- ・第61回 平成29年6月29日 会長及び専務理事の選定
（書面）
- ・第62回 平成30年3月29日 29年度予算の補正、30年度事業計画・予算・
資金調達及び設備投資の見込み

2 環境情報の提供

(1) インターネットホームページ（[URL: www.eco-partner.net](http://www.eco-partner.net)）による情報提供

- ・県民会議の活動、県内外の環境情報などを発信した。

*ホームページ閲覧実績

年間 14,558回 (39回/日)

(前年度：16,539回 (45回/日))

- ・環境情報メールマガジン（県民エコステーション NEWS）の発行（月2回程度）

* 配信先数：524 団体・個人（平成30年3月末現在）

（前年度：520 団体・個人）

(2) 機関報 E-GAIA（イーガイア）の発行

・発行部数：1,900部（年2回 第1回1,000部 第2回900部）

（前年度：2,000部（年2回 各1,000部））

・配布先：会員、市町（配布用）等

(3) 会員情報誌「エコナビ」の発行

・発行部数：1,000部（年1回）

（前年度：1,000部（年1回））

・配布先：会員、教育機関、公的機関等

(4) 「県民エコステーション」における情報提供（活動・イベント案内、会員情報等）

(5) 環境ライブラリーとして、図書、ビデオテープ、パネル等の整備・貸出

・図書等整備状況（平成30年3月末現在）

図書1,272冊、DVD・ビデオ301本、パネル60枚

・貸出状況 図書 16冊、DVD・ビデオ 2本、パネル 8枚

（前年度：図書等整備状況 図書1,855冊、DVD・ビデオ415本、パネル55枚

貸出状況 図書 28冊、DVD・ビデオ 37本、パネル 6枚）

3 地球温暖化防止対策の推進

(1) いしかわ環境フェア2017の開催

・開催日：平成29年8月19日（土）・20日（日）

・開催場所：石川県産業展示館4号館

・いしかわ近未来の環境技術展

いしかわの里山里海展 を同時開催

・参加者数：27,500人（1日目 12,500人 2日目 15,000人）

・出展団体：175団体（企業、行政、学校、民間環境団体等）

（前年度：参加者数27,000人（1日目 12,500人 2日目 14,500人）、出展団体175団体）

・内 容

○テーマ

未来のためにクールチョイス ～今わたしたちにできること～

○企業・団体出展コーナー

- リサイクル、CO2削減等の環境活動の取り組みや、関連企画の展示・紹介など
- 環境科学実験・体験・工作コーナー
自然素材を活かした小物づくり、カブトムシ・クワガタ迷路など
 - ステージ
エコデザイン賞公開プレゼンテーション、ルー大柴氏講演など
 - その他
環境月間・愛鳥週間ポスターの展示・表彰
 - いしかわ近未来の環境技術展
最新エコカーの展示・試乗、企業協力による省エネ商品・省エネプロジェクトの紹介
 - いしかわの里山里海展
里山の恵みを活用した各種体験・工作、里山里海の生き物たちとのふれ合い、ジビエの紹介など

(2) 省エネ・節電アクションプランの推進

従来の環境 ISO の取組項目に加えて、省エネ・節電効果の高い取組項目を追加選択のうえ、アクションプランとしてステップアップした「いしかわ版環境 ISO」の取組み数の拡大を図った。

- ・学校・事業所等への周知
- ・相談窓口の設置（専任相談員による相談：週1回）

(3) エコギフトによる温暖化防止活動への支援

- ・内容：いしかわ学校版・地域版環境 ISO で認定された学校や公民館等を対象に、取組の評価を行い、優秀な取組に対しエコギフト（エコ賞品）を贈呈した。
- ・贈呈：学校10校、地域（町会等）1地域
（前年度：学校8校、地域（町会）2地域）

(4) いしかわエコチケットによる温暖化防止活動への支援

- ・内容：いしかわ家庭版環境 ISO 登録者を対象に、省エネなどエコ活動等に応じてエコチケットを交付し、家庭におけるエコ活動等の普及拡大を図った。
- ・交付実績：1,561,500ポイント
（前年度：1,667,400ポイント）

(5) エコファミリー倍増プロジェクト推進事業

- ・内容：平成37年度までにエコファミリーを80,000世帯とする目標に向け、いしかわエコライフ応援サイトを運営するとともに、子育て世帯の取組をさらに後押しするために親子向けにイベントを実施し、取組の裾野の拡大を図った。

(6) いしかわクールシェアの推進

夏季期間中、家庭のエアコンを消して、公共施設や商業施設などの冷房空調を共有することにより、家庭における消費電力を削減する「クールシェア」の取り組みを推進した。

- ・クールシェアスポットの募集・登録
- ・広報チラシ等印刷物の作成配布
- ・スタンプラリー企画の実施
- ・普及啓発イベントの開催（7月1日 金沢市内）

(7) いしかわウォームシェアの推進

冬期期間中、家族が1つの部屋に集まって鍋を囲んだり、暖房を消して外に出かけることで、家庭における消費電力を削減する「ウォームシェア」の取り組みを推進した。

- ・ウォームシェアスポットの募集・登録
- ・広報チラシ等印刷物の作成配布
- ・投稿キャンペーンの実施
- ・普及啓発イベントの開催（11月3日 小松市内）

(8) 企業エコ化促進事業

- ・内容：県内中小企業等を対象に、地球温暖化対策や生物多様性の保全など環境対策を、制約でなくビジネスチャンスと捉える企業マインドの醸成を図った。
- ・いしかわエコデザイン賞のブランド化業務
公開プレゼンテーション等、賞の企画運営・実施、広報

(9) エコものの発信力向上支援事業

- ・内容：環境保全に役立つ優れた製品・サービスの市場への普及に向け、エコ製品・サービスのPR手法を学ぶセミナーの実施やキャッチコピー付与・広報アドバイスを実施した。

(10) CO2削減活動支援事業

- ・内容：二酸化炭素の吸収源となる森林を整備する活動を行う団体を社会全体で支える制度を創設し、森林整備活動の拡大を図るため、普及啓発や企業協賛金の受け入れ、整備活動団体に対する助成金の交付を行った。

協賛金受入：3社 25万円、助成金交付：11団体 30万円

(前年度：協賛金受入 3社 20万円、助成金：3団体 23万円)

(1 1) いしかわ事業者版環境 ISO の運営

- ・内容 石川県独自の簡易な環境マネジメントシステムであるいしかわ事業者版環境 ISO に係る審査・指導
- ・申請件数 (更新含む)：229件 (累計申請件数：2,535件)
(前年度：314件)

(1 2) エコクッキングの実践活動

- ・内容：地元の食材を使用し、調理器具や調理方法など環境への負担を少なくすることを実践しながら学んだ。
- ・回数：1回 (能登町)、参加者延べ21人
(前年度：2回 (金沢市、津幡町)、参加者延べ53人)

(1 3) 地球温暖化防止活動基盤形成事業

- ・内容：広く県民に対し、地球温暖化対策の情報提供を行うとともに、県から委嘱された地球温暖化防止活動推進員のさらなる資質向上を目的に研修を開催した。
 - ・地域における地球温暖化の現状及び対策の推進状況等の啓発普及
いしかわ環境フェア2017ブース出展等
開催回数 2日、参加人数 延べ2,076人
 - ・地球温暖化防止活動推進員研修
開催回数 4回、参加人数 延べ24人

4 普及啓発活動の実施

(1) いしかわエコハウスの見学者への案内・普及

- ・いしかわエコハウスでの快適環境の体験
- ・最新機器の展示や展示物を活用した研修会等を開催
- ・「エコ設計」「エコ改修」「エコリビング」の普及啓発

(2) 電気自動車の展示

- ・内容：電気自動車を配備・展示し、来館者にご覧いただいたり、環境イベントや環境保全活動において使用することにより、電気自動車の普及啓発を図った。

(3) 県民エコステーションでの常設展示

- ・エコキッチン
- ・石川県リサイクル認定製品の展示
- ・ドイツ交流コーナー（ドイツ・フライブルク市との交流コーナー）
フライブルク市エコステーションの事例パネル、グッズ等紹介
- ・会員活動情報、イベント情報、温暖化防止啓発等のチラシ、パンフレットの掲示

*平成29年度 県民エコステーション来所者数

4,326人（月平均：360人）

（内 訳）

①来館者数 3,842人（月平均320人）

②会議室利用者数

団体数： 60団体（月平均 5団体）

人 数： 484人（月平均40人）

（前年度：来所者数4,621人（月平均：385人）

① 来館者数 4,078人（月平均339人）

② 会議室利用者数 団体数：60団体（月平均5団体）

人 数：484人（月平均45人）

5 環境学習講座の開催

(1) ドイツでの環境学習講座の開催

- ・開催数：1回、参加者：2名
- ・内 容：ドイツ・フライブルク市エコステーションとタイアップした現地講座開催によるリーダー育成

（前年度：開催1回、参加者1名）

(2) 土曜環境サロン

環境保全を考える県民の情報交換の場づくり

- ・開催数：4回
- ・参加者：延べ83人（子ども15人、大人68人）

（前年度：開催4回、参加者延べ98人（子ども7人、大人86人））

6 環境活動の支援

(1) 環境保全活動の支援助成

営利を目的としない民間団体の温暖化防止、ごみ減量化、自然環境の保全等に
係る活動に対して助成した。

助成団体数：5 団体 助成額：400,000 円

(スタートアップ助成：2 団体 助成額150,000 円)

ステップアップ助成：3 団体 助成額250,000 円)

(前年度：助成団体数4 団体、助成額375,000 円)

(内訳) スタートアップ助成：3 団体 助成額225,000 円)

ステップアップ助成：1 団体 助成額150,000 円)

(2) 講師等派遣

県内の事業所、学校、各種団体等が行う環境保全の講演会、エコドライブ教室、
エコクッキング研修会等へ講師を派遣した。

派遣回数：41 回

(内訳) 学校・保育所等19 回、民間団体21 回、事業所1 回

(前年度：派遣回数42 回、

(内訳) 学校・保育所等19 回、公民館3 回、民間団体18 回、事業所2 回)

7 いしかわe c o 基金事業

いしかわ家庭版環境ISO登録者を対象に、省エネ活動等に応じてエコチケット
を交付し、エコ活動等の拡大や登録の普及拡大を図るエコチケット事業の原資となる
いしかわe c o 基金の管理運営を行った。

エコチケットは、事業協力店舗での買い物や森林整備活動資金への寄付を行うこ
とができるもので、金融機関等の協力を得て「いしかわe c o 基金」を造成し、事
業協力店舗に対するエコチケットの換金支払等を実施した。

e c o 基金残高の推移 (エコチケット引当資産を含む)

前期末残高 3,674,745 円

(うち引当資産 1,660,000 円)

当期受入額 (寄付金等) 2,966,535 円

当期払出額 (換金支払等) 3,207,700 円

当期末残高 3,433,580 円

(うち引当資産 1,547,700 円)

8 里山ポイント事業

県や市町、里山づくり ISO 認証団体が主催する里山活動への参加者に対し、里山ポイントを付与し、そのポイントに応じた里山チケットを交付することにより、より多くの人々が里山保全活動へ参画することを促進した。

9 いしかわ自然学校事業

(1) 事務局の設置、運営

①運営協議会の開催

- ・いしかわ自然学校の推進方策の検討及びプログラム実施等の調整

開催日 平成30年2月23日

対象 実施団体及びいしかわ自然学校インストラクター等

出席者 17名

②総合的な広報・PR等

- ・総合パンフレットの作成及び配布

作成部数 12,000部

配布先 市町、小中学校、公共図書館・児童館、生涯学習施設
スポーツ用品量販店、自然体験プログラム実施団体ほか

- ・大人の自然学校パンフレットの作成及び配布

作成部数 1,500部

公共図書館、自然体験プログラム実施団体ほか

③活動用品の貸出

自然体験プログラムを実施するため必要となる物品の貸出

(2) 実施団体及び指導者の養成

①インタープリターセミナーの開催

- ・自然体験活動指導者相当の資格が付与できる指導者養成講座

開催日 6月10日～11日

参加者 延べ17人

内容 習得した知識や技術を活かし、自然体験プログラムの企画、
広報、実施、評価について、実践をとおして学習

②専任職員の配置

- ・インストラクター等の派遣に関する業務を中心に事業全般の企画・調整等

(3) インストラクタースクールの開催

- ・必修講座（企画セミナー、安全管理セミナーなど）、実践講座の開催

講座修了者を「いしかわ自然学校インストラクター」に登録

受講・登録者 13人

10 夕日寺健民自然園管理運営事業

(1) 自然園の管理運営（職員2名体制）

(2) 来園者増のための取組

- ・自然体験プログラムの実施（開催35回、参加者延べ400人）

（前年度：開催38回、参加者延べ447人）

- ・夕日寺の森フェスタの開催（10月8日、参加者480人）

（前年度：10月10日 参加者450人）

- ・広報（ホームページ、パンフレット作成）

*年間来園者数45,884人

（前年度：47,775人）